

# 『下野市総合計画策定に関するアンケート調査』結果速報

現在、市で策定している「下野市総合計画」に、市民の皆さんのご意見を反映させるために実施した「下野市総合計画策定に係る市民アンケート調査」の単純集計結果がまとまりましたので、その概要を速報としてお知らせします。

問い合わせ先

企画財政課  
☎40-5552

## 総合計画の策定状況

現在、総合計画懇話会は月に2～3回のペースでグループ討議を行っています。今回お知らせする市民アンケート調査のほか、下野市の基礎的情報を収集・整理した基礎調査などを基に、基本構想などに関する意見や提言を、平成19年3月を目途に取りまとめ中です。

また、総合計画の諮問機関である総合計画審議会は、これまでに2回の会議を開催しています。懇話会の提言などを参考に、今後は基本構想案などについて審議していただく予定です。



討議中の懇話会の模様

## 《調査の概要》

調査対象者

市内在住の20歳以上の男女(10月1日現在で住民基本台帳から無作為に抽出)

調査方法

郵送による配布・回収

調査総数

10,000通

回収数

3,357通(回収率33.6%)

調査期間

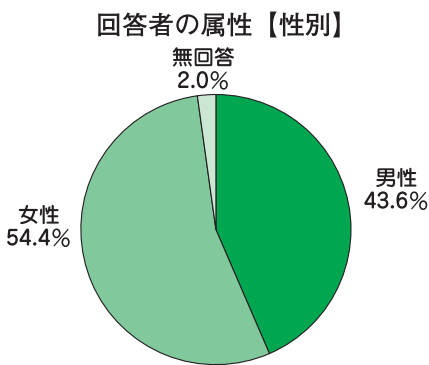
平成18年11月1日～17日

## アンケート調査結果

### 回答者の属性

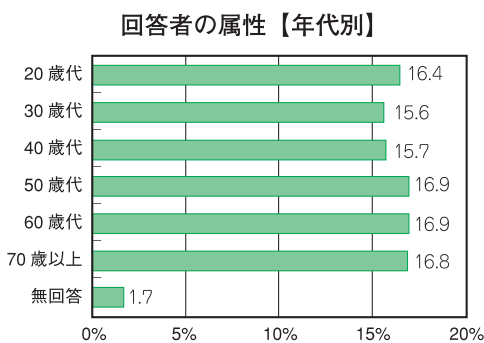
性別

男性が43.6%、女性が54.4%と、女性の方が多くなっています。



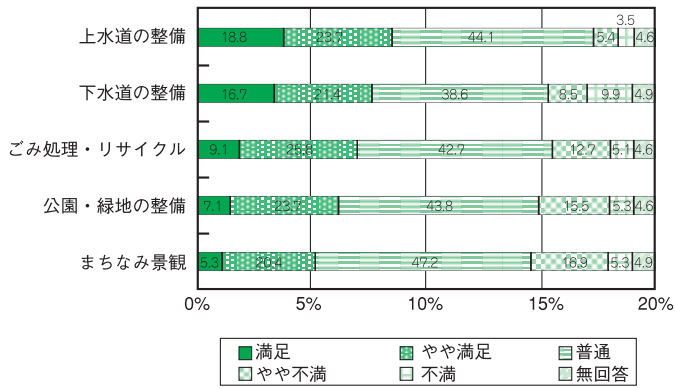
年齢

各年代とも550人前後、15.6%とバランスよく回答いただきました。

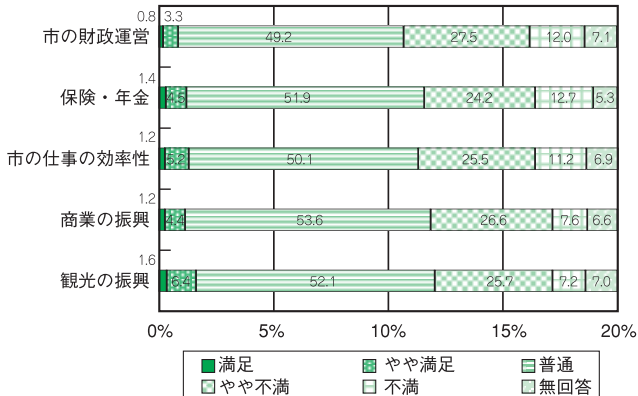


## 日常生活における満足度

日常生活における満足度（上位5項目）



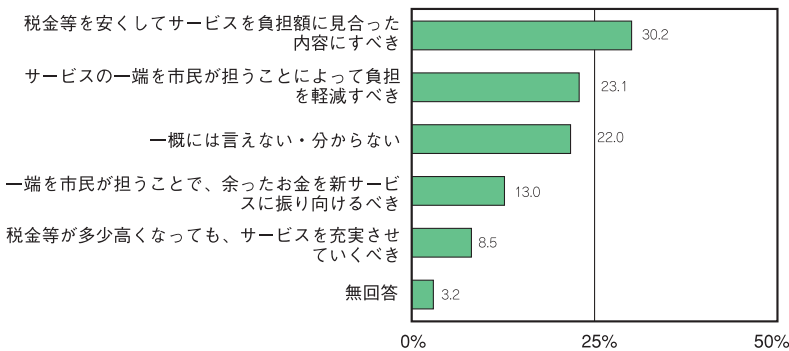
日常生活における満足度（下位5項目）



これまでの市の取組みに対する日常生活における満足度を伺いました。まず、「満足」「やや満足」を合わせた回答の割合を項目ごとと比較すると、「上水道の整備」が42.5%と、満足している層がもっとも高く、次いで「下水道の整備」が38.1%、「ごみ処理・リサイクル」が34.9%の順になりました。反対に、「不満」「やや不満」を合わせた回答の割合を項目ごとと比較すると、「市の財政運営」がもっとも高く、

39.5%の人が不満に感じていることがわかりました。次いで、「保険・年金」が36.9%、「市の仕事の効率性」が36.7%、「商業の振興」が34.2%、「観光の振興」が32.9%の順になりました。全般的に、満足度が高いのは「生活基盤」内の項目に多く、不満が強く出ている項目をカテゴリ別に見ると、「行政」が多く、次いで「産業」となっていることがわかりました。

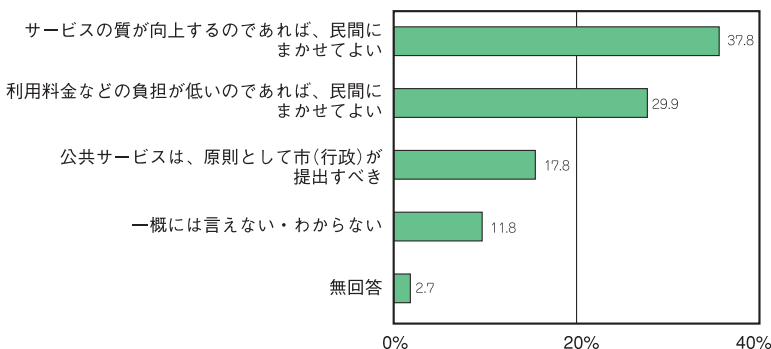
公共サービスを受ける権利と義務との関係について



「税金等を安くしてサービスを負担額に見合った内容にするべき」との回答が30.2%ともっとも多く、次いで「サービスの一端を市民が担うことによって負担を軽減すべき」との回答が23.1%となりました。このことから、公共サービスを受けるなどの「権利」を多少放棄しても、「義務」を軽減してほしい、との意見が過半数と読みとれます。

## 公共サービスを受ける権利と義務との関係について

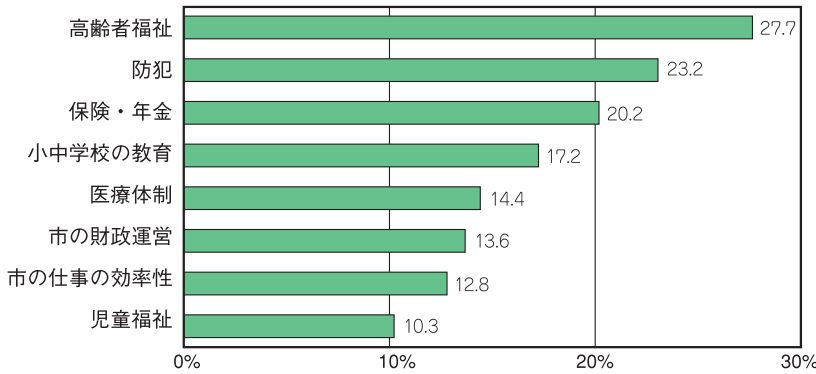
公共サービスの一部を民間に委託することについて



「サービスの質が向上するのであれば、民間にまかせてよい」と「利用料金などの負担が低いのであれば、民間にまかせてよい」との回答をあわせた、民間委託に対する肯定的意見が67.7%となっています。

## 公共サービスの一部を民間に委託することについて

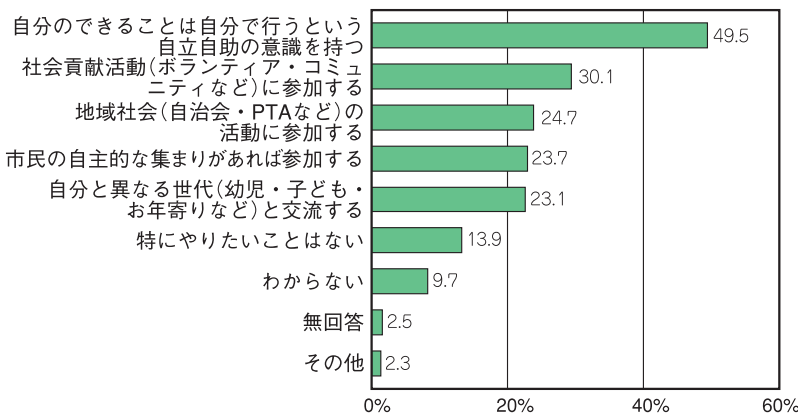
行政政策のうち、力を入れて欲しい項目（上位8項目）



もっとも回答が多かったのは、「高齢者福祉」で27.7%、次いで「防犯」が23.2%、「保険・年金」が20.2%、「小中学校の教育」が17.2%となりました。少子高齢化の恐れの中で、高齢者の社会保障や若年層の人材育成に対する需要が大きくなりました。

行政施策のうち、今後力を入れて欲しい項目

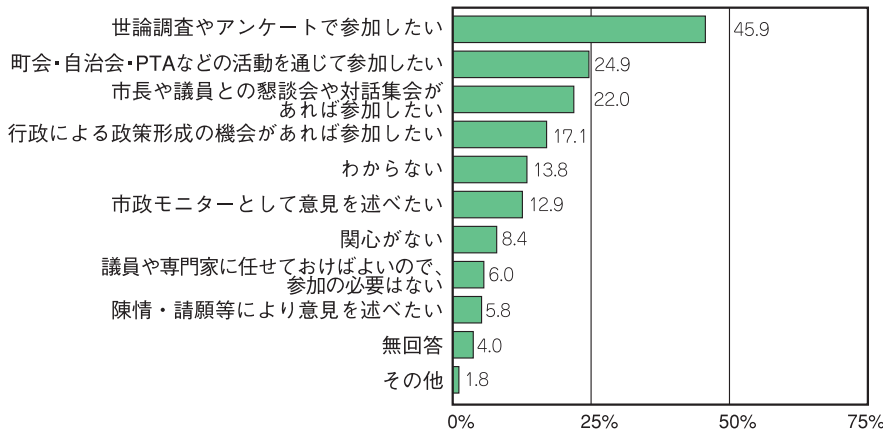
ボランティアやコミュニティ活動への参加意欲



自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」との回答が約半数(49.5%)と、もっとも多く、「社会貢献活動(ボランティア・コミュニティなど)に参加する」という積極的な意見も30.1%と多くなっています。次に「地域社会(自治会・PTAなど)の活動に参加する」との回答24.7%が続いています。

ボランティアや「ミニ」ニティ活動について

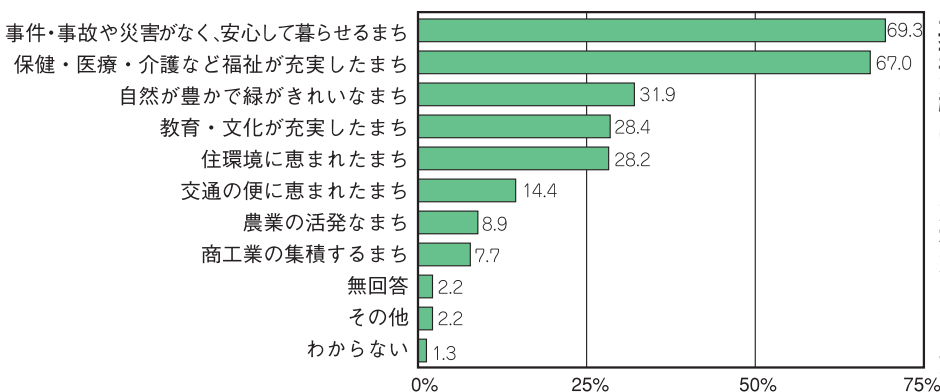
行政(市)との関わりのなかでの活動



「世論調査やアンケートで参加したい」との回答が、45.9%と他の回答と大差をつけて多くなっています。次は、「町会・自治会・PTAなどの活動を通じて参加したい」との回答で24.9%となっており、身近な組織への参加の意欲が高いことがうかがえました。

行政との関わりのなかでの活動

市の将来像



「事件・事故や災害がなく、安心して暮らせるまち」が、69.3%で1位となり、「保健・医療・介護など福祉が充実したまち」との回答が67.0%と続いています。市民が安全・安心に暮らせることに對する要望が強くなりました。

市の望ましい将来像